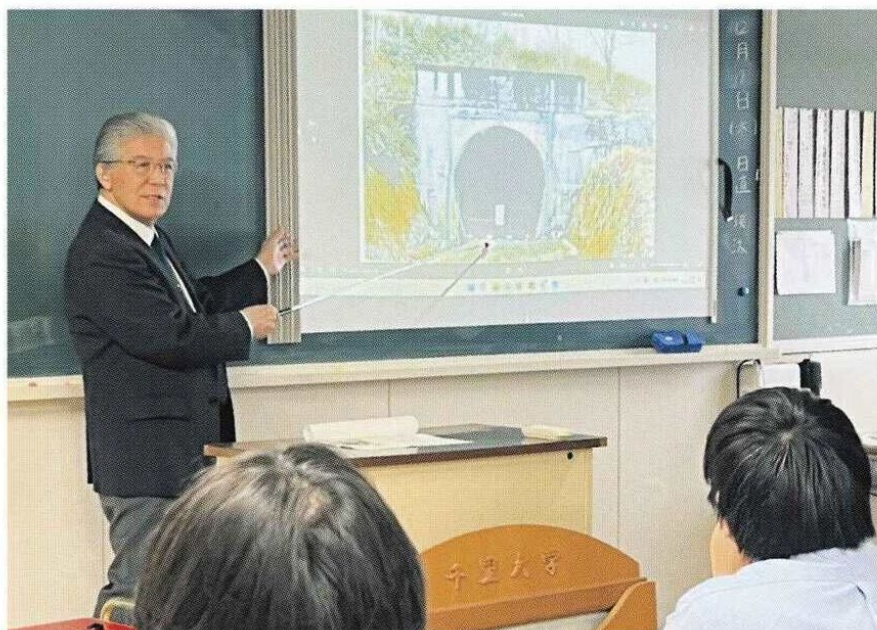


# 砂金採取の歴史「驚き」

南富良野高 外部講師招き授業



町の歴史や建造物について話す山名さん

【南富良野】町の歴史や成り立ちを学ぶ授業が南富良野高で行われた。元町教育委員会職員の山

名賢一さん(78)を講師に、3年生が根室線の歴史などについて理解を深めた。

18日に実施。同校には町外出身の生徒が増えており、町の歴史について知ってもらおうと地理総合の時間を利用して行われた。

授業の前半では、山名さんが南富良野町が空知郡に属している経緯や狩勝峠の地名の由来などを紹介。後半は、根室線を題材に町内の高齢者大学「千里大学」の学生が作った紙芝居「なつかしの鉄路」を生徒らが披露。下金山や落合駅、ダム建設に伴いかなやま湖に沈んだ旧鹿越駅などを紹介する内容で、生徒らは感情をこめて読み上げた。南富良野高3年の大西

泰豊さん(18)は「町で砂金採取が盛んだったことは知っていたが、砂金取りの月給の高さを知って驚いた」、千歳市出身の中村愛梨さん(18)は「金山ダムがいつどうやって作られたか初めて聞き、勉強になった」と話した。

(川上舞)